

質問(小池利雄議員)「ヒブ(Hi**b**)ワクチン」について、制度の導入に当たり、市の考え方と経緯について伺います。

答弁(市長)ヒブ(Hi**b**)ワクチンにつきましては、平成二十一年四月一日から実施するものであり、次世代を担う大切な子供たちをヒブによる細菌性髄膜炎から守り、健康な成長を支援するため、予防接種を推進してまいりたいと考えております。

この助成金の財源につきまして

は、子育て支援基金を活用いたします。子育てチケットは、平成十九年十月一日にスタートいたしました。将来の老後を支えてもらえる次世代の子供たちにかかる費用の一部を社会全体で負担し、子育て支援に貢献していただくものであります。取扱店が子育てチケットを市で換金する際に、1%の換金手数料を負担していただき、市もまたそれと同額を同じ基金に積み立て、子育てチケット使用分の2

%分が基金として積み立てられます。二月一日現在、子育てチケット取扱店は市内全体で四百九十五店舗となっており、子育て支援基金は約千八百万円となっております。平成二十一年度のヒブ予防接種の助成額は六百五十万円を予定しており、平成二十二年度は九百十万円が必要となる見込みであります。今後の財源を安定して確保するため、子育てチケットを市民の皆様さらに活用していただき、ますよう関係部署と連携し、さらなるPRを図ってまいりたいと考えております。

(※1の用語解説は9ページ)



次世代を担う子供たちを守る

「ヒブ(Hi**b**)ワクチン」について

4月1日から大田原市民の方

70歳以上の方
肺炎球菌予防接種が受けられます

希望する方は当医院に予約してください。

受ける場合
市健康政策課に申し込みをし「肺炎球菌予防接種券」をもらってきてください
肺炎球菌予防接種券がないと受けられません
また肺炎球菌予防接種は1人1回しか受けられませんので、ご注意ください。

行政措置の定期外予防接種ですが補助があります

費用: 委 託 料	7,500円(大田原市内で受ける場合のみ)
市からの助成金	3,500円
自己負担金	4,000円

肺炎球菌ワクチンとは、肺炎球菌によって引き起こされる色々な病気(感染症)を予防するためのワクチンです。
肺炎球菌には80種類以上の型がありますが、このワクチンはそのうちの22種類の型に対して有効なことが出来ます。
これで肺炎球菌による感染症の80%を予防することができます。
また、肺炎の抗菌薬に対する耐性菌が増えているため、治療が困難になってきています。年間を通して接種ができます。

問い合わせ先: 当医院又は大田原市高齢いきがい課介護予防係 23-8917

肺炎球菌予防接種のポスター

肺炎球菌ワクチン接種費の一部助成について

質問(篠崎 博議員)肺炎を予防する肺炎球菌ワクチン接種費の一部を助成する事業の内容について伺います。

答弁(市長)肺炎による死亡率を年齢段階別に見てみますと、高齢者で多く、特に八十歳以上ではかなりの高率となっております。肺炎の中でも肺炎球菌に起因するものは40ないし60%を占めております。肺炎球菌は小児の咽頭、鼻腔に存在することがあり、これらが増殖し、病巣に進

み、体力が落ちているときや高齢になり、免疫力が低下してきますと、炎症を引き起こして感染症を発症します。すべての肺炎球菌を予防するものではありませんが、それでも感染機会が多い種類の80%くらいはカバーでき、一度接種すると五年ないし十年間は効果が持続すると言われております。本市では高齢者が肺炎に罹患し、重症化するリスクを軽減し、健康の維持向上を目的として、平成二十一年

四月一日から市内在住の七十歳以上の方を対象に肺炎球菌予防接種を一部公費負担で実施することといたしました。費用につきましては、委託医療機関で行う場合には、七千五百円のうちの三千五百円を公費負担とし、残りの四千元が自己負担となります。平成二十一年度の予算では、千八百五十人分、六百五十万円を計上いたしました。今後は予防接種の意義について、広く市民の皆様周知し、一人でも多くの方に予防接種を受けていただくよう勧奨してまいりたいと考えております。